

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 26 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2022 年 9 月 20 日 (火) 10 時~12 時

(2) 会場

Zoom オンライン会議

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	細田浩之
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

② 事務局・オブザーバー

とっとり県民活動活性化センター	小林綾子
ふるさと島根定住財団	小笠原啓太
ひろしま NPO センター	松村渉

(4) 議題

① 2022 災害枠について

② その他

■2022 災害枠について

石原氏より企画の説明があった。

広範囲自然災害発災時に、中国地方内で活動する NPO 等の確保が必要。

目的や成果イメージ

専門組織を中国地方内に一定数確保

泥かき、ブルーシート張り、重機など

一定の理解、認知がある

発災時の市町村域の支援体制構築

組織基盤が強化されている

関係性があり連携方法ができる

出来れば 5 県連携の枠組みにする

5 県連携ができる

地域の状態

自分たちだけ対応することは難しい（受援力の必要に気付いている）

復旧作業や避難所、VC 運営の専門性高い団体が駆け付ける

中国 5 県の連携がスムーズ

実行団体側

能力が高まっている

組織体制が築かれている

中国 5 県内の他地域パートナー的に動ける

何かあった時現地に行ったら仲間関係が出来ている

ネットワークが強化されている

普段はしていないが災害時に速やかに動ける状態

資金分配団体

組織基盤強化が進んでいる

ろうきんなど資金支援の枠組み作りが進んでいる

問題の背景

災害時孤独孤立になる人支援

水害だと片付けして生活再建

避難所、ボラセンの運営

大規模災害時に大手は最も大きな被災地に行ってしまうので、地元を支えることを第一に

ボラセン、行政なども整備出来ていな

5 県内では、メッセージャーで連絡いただいた、情報共有できている

これらをノウハウ化

行政機関はここまでやってくれない、民間だと 5 県を面的にはできない、なので休眠預金を使

う

本事業の対象は 2 つ

A：災害時専門性の高い組織、5 県内を支援できる

支援能力強化

重機等整備、人材確保・育成

他地域に行ってパートナー候補団体とのコミュニケーション、教育

組織基盤強化

地域内調査

他地域とのネットワーク

B：市町村域の中間支援、まちづくり組織

5 県全体で応募して

各地域推薦はあっていいが、都道府県の境界線を引かないで出す

対象

A 専門組織：中国地方で 1, 2 あるのが現実的かと思う

B 市町村域：普段はやっていないが災害時に活動してくれる市町中間支援が各県 1 団体

市町村域というのは、若干エリア的になってもいいと思う。生活圏のとりまとめができるなら。

B が整っていけば、情報収集も細かくできるし。より良くなると思う

松原氏

現実的に B、市町レベルの支援組織とは組めたらいい。

A は組織としてかかりしていないところが多く、休眠に応募できるか不明

岡山にめどはあるか

石原氏

災害支援ゴリラ、そこが 1 つ

広域支援しているところがいくつかあるのでそこが出てくれたらと思う。

松原氏

鳥取、岡山、広島など子育て系の団体がしっかりしている

そこが出てきてもいいかと思う

石原氏

親の会なども災害支援しているのでそこも対象になると思う

自分の地域の専門団体が手を上げたならそこを伴走する

それが無くても、カウンターパートナーになる団体の支援は一緒にやっていく

これは 5 県の枠組みが強みになる

伊藤氏

B の方は、具体の応募要項で肉付きしていくと思うが、手を上げる条件をどう考えるか。

意向ややる気があって、スキルが無いなどのケースをどう対応するか。

山口や島根、プレイヤーがどこまでフォローできるかだと思うが、全然やっていなくてやる気だけという

団体を支援するのは難しい

石原氏

審査のなかでの優先順位だと思うが、ちょっとやったことがあるならハザードマップ上の危険地域を優先するとかの基準を設けて対応できると思う

大変な地域だけど人がいない場合、我々としては優先順位高くしたい
ある程度は岡山、広島がノウハウ持っているので提供できる

細田氏

山口と同じような感じで実行団体が専門的にやっているところはない

やる気があるところをどのように拾うか、把握はしていないので、この枠組みを基に社協などに、出来る団体があるか確認していく

島根だと専門組織はないと思う。市町村域のどこをカバーするか、江の川流域など災害重点、東部にもある。そこをどうするかは検討が必要。

石原氏

研修会を兼ねた説明会をオンラインで何か所か実施出来たらと思う。

■その他

事務局

JANPIA からコロナ枠を募集しているとの情報提供がありました。

2020 通常枠の点検検証があります

毛利氏

2020 通常つむぎについて、調整中、解決方向に向けて実施している

運営委員会として伊藤さんにも参加してもらっている。引き続き調整しています

伊藤氏

11 月末の合同研修について事前に案を見ていただき、コメントをありがとうございます

島根からご意向があれば、またメッセージの方で今日中に投げてください

松原と G7 の話を詰めて、川北さんと詰めていきます

開催方法についてはハイブリット開催を想定

可能であれば実際に来ていただくのがベター


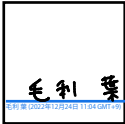
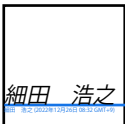

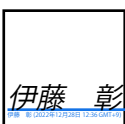
オンラインの方は割り振りあるかなという感じ

以上で議事のすべてを終了し、12:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2022年9月23日

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	細田浩之	
運営委員	石原達也	
運営委員	伊藤彰	

第26回運営委員会議事録


最終監査レポート

2022-12-28

作成日 :	2022-12-23
ユーザー名 :	Wataru Matsumura (matsumura3@npoc.or.jp)
ステータス :	署名済み
トランザクション ID :	CBJCHBCAABAA60gWMGyDgPvvdSXPvtSm9rT-skTMH98r

履歴

-  Wataru Matsumura (matsumura3@npoc.or.jp) 様が文書を作成しました
2022-12-23 - 4:37:16 GMT- IP アドレス : 153.194.67.167
-  文書が署名のために matsubara@npoc.or.jp 様に電子メールで送信されました
2022-12-23 - 4:38:38 GMT
-  matsubara@npoc.or.jp 様が電子メールを閲覧しました
2022-12-23 - 5:46:49 GMT- IP アドレス : 49.97.103.161
-  署名者 matsubara@npoc.or.jp 様は 署名時に 松原裕樹 として名前を入力しました
2022-12-24 - 1:23:16 GMT- IP アドレス : 180.25.97.90
-  松原裕樹 (matsubara@npoc.or.jp) 様が文書に電子サインしました
署名日 : 2022-12-24 - 1:23:18 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 180.25.97.90
-  文書が署名のために ymouri.tottori@gmail.com 様に電子メールで送信されました
2022-12-24 - 1:23:19 GMT
-  ymouri.tottori@gmail.com 様が電子メールを閲覧しました
2022-12-24 - 2:02:43 GMT- IP アドレス : 66.249.84.52
-  署名者 ymouri.tottori@gmail.com 様は 署名時に 毛利 葉 として名前を入力しました
2022-12-24 - 2:04:42 GMT- IP アドレス : 121.104.138.123
-  毛利 葉 (ymouri.tottori@gmail.com) 様が文書に電子サインしました
署名日 : 2022-12-24 - 2:04:44 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 121.104.138.123
-  文書が署名のために hosodah@teiju.or.jp 様に電子メールで送信されました
2022-12-24 - 2:04:45 GMT
-  hosodah@teiju.or.jp 様が電子メールを閲覧しました
2022-12-25 - 23:32:07 GMT- IP アドレス : 220.110.212.169

 署名者 hosodah@teiju.or.jp 様は 署名時に 細田 浩之 として名前を入力しました

2022-12-25 - 23:32:56 GMT- IP アドレス : 220.110.212.169

 細田 浩之 (hosodah@teiju.or.jp) 様が文書に電子サインしました

署名日 : 2022-12-25 - 23:32:58 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 220.110.212.169

 文書が署名のために 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様に電子メールで送信されました

2022-12-25 - 23:32:59 GMT

 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様が電子メールを閲覧しました

2022-12-25 - 23:41:22 GMT- IP アドレス : 66.249.84.52

 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様が文書に電子サインしました


署名日 : 2022-12-25 - 23:41:38 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 126.158.123.148

 文書が署名のために yamaguchiito@yahoo.co.jp 様に電子メールで送信されました

2022-12-25 - 23:41:39 GMT

 yamaguchiito@yahoo.co.jp 様が電子メールを閲覧しました


2022-12-28 - 3:35:48 GMT- IP アドレス : 124.146.233.111

 署名者 yamaguchiito@yahoo.co.jp 様は 署名時に 伊藤 彰 として名前を入力しました

2022-12-28 - 3:36:11 GMT- IP アドレス : 124.146.233.111

 伊藤 彰 (yamaguchiito@yahoo.co.jp) 様が文書に電子サインしました

署名日 : 2022-12-28 - 3:36:13 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 124.146.233.111

 すべてのプロセスが完了しました

2022-12-28 - 3:36:13 GMT